

第33回関西広域連合委員会の概要

平成25年5月24日
関西広域連合本部

○日 時：平成25年5月23日（木） 13:50～16:30

○場 所：リーガロイヤルNCB 2F 淀の間

○出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、松井委員、平井委員、飯泉委員
門川委員、矢田委員、村上副委員、田村副委員
道州制のあり方研究会

新川座長（同志社大学大学院教授）、山下副座長（関西学院大学教授）、
北村委員（滋賀大学理事・副学長）、村上委員（大阪学院大学教授）

※1に関する説明：原子力規制庁山本審議官

○議事概要

1 発電用軽水型原子炉の新規制基準について

- ・原子力規制庁山本審議官から、7月に施行される原子力発電所の新規制基準について、基本的な考え方、新たに設ける基準（シビアアクシデント対策）などについて説明を受けた。
- ・井戸連合長より、大飯原子力発電所について、新基準に適合しているか厳正に審査することや、新規制基準策定にあたり、原子力発電所立地周辺自治体に対して意見照会することなどを求めた申し入れを山本審議官に提出した。

2 道州制のあり方研究会との意見交換について

- ・井戸連合長より、5月10日に自民党、公明党に対し行った「道州制基本法案（骨子案）に対する申し入れ」の結果概要について報告があった。
- ・新川座長より、これまで行った「道州制のあり方研究会」での検討経過及び今後の検討に当たってのポイント等について報告があった。
- ・また、新川座長から、本日の意見交換結果も踏まえ、さらに検討を進めるとともに、6月に中間論点整理を研究会で行いたいとの発言があった。

3 協議事項

① 今夏の節電対策について

- ・昨年並みの節電（平成22年夏と比べて9%削減を目安）の着実な実施に向け、家庭へは、エアコンの28度設定やこまめな消灯など、企業へは、空調、照明、OA機器における節電対策など具体策を提示し、家庭や企業に呼びかけていくこととした。

② 平成26年度国の予算編成等に対する提案について

- ・原案について最終確認の後、6月上旬に国に対し提出することを決定した。

4 報告事項

① ワールドマスタース国際大会（WMG）の招致に向けたトリノ視察

- ・井戸連合長より、平井委員、門川委員を団長とするトリノ大会視察団を8月に派遣することについて報告があった。

② 鳥インフルエンザ（H7N9）への対応対策

- ・広域防災局より、広域連合長を本部長とする鳥インフルエンザ対応体制について報告があった。

③ 関西広域連合トッププロモーション

- ・山田委員より、中国本土及び東南アジアに大きな影響を持つ香港などへ関西の魅力をアピールし、観光誘客を図るトッププロモーションを9月に行うことについて報告があった。

④ 「'13食博覧会・大阪」への出展結果

- ・山田委員及び仁坂副連合長より、「'13食博覧会・大阪」（4/26～5/6）でのPR結果について報告があった。

⑤ 関西での首都機能バックアップ構造の構築に関する意見

- ・本部事務局より、意見書を取りまとめ関係府省に提出することについて報告があった。

⑥ 6月臨時議会

- ・6月29日に関西広域連合議会6月臨時会を開催することについて報告があった。

5 資料配付：関西元気文化圏推進フォーラム「文化芸術の再発見」Ⅰ